

# 蹴友



開成サッカー一部  
OB会誌 No.37  
2014年5月15日

…OB会費納入のお願い…  
サッカー部OB会では、現役とOBチームの活動をサポートするために、毎年金銭的援助を継続しております。一口五千元（出来れば二口一万円）の会費を何卒よろしく願います。

## ☆観戦記①中学 首都圏私立中学チャンピオンズ カップは準々決勝で敗退！

第5回首都圏私立中学チャンピオンズカップ（東京8校、神奈川3校、千葉2校、埼玉2校、前年優勝校の16校）の予選リーグにおいて、初戦（12／25）は日大三中に2…1で勝利、第二戦（12／26）は桐光学園中に1…1で引き分け、最終戦（12／30）は八千代松陰中を2…0で破り、予選リーグを一位通過（第1回、第4回は予選リーグ敗退）したが、8校による決勝トーナメント一回戦（1／4準々決勝）で優勝した埼玉栄中に1…3（0…3、1…0）で敗退、さすがにベスト4の壁は厚かった。しかし、首都圏私立中学チャンピオンズカップ予選リーグ突破は初（3度目の正直）の快挙で高く評価出来る。



▼昨春、この欄で、「欧州サッカー／根深い差別」というイタリアで起った明白な人種差別事件を話題にしたが、事は対岸の火事ではなく、3月8日、埼玉スタジアムで「JAPANESE ONLY」横断幕事件が起ってしま。た。「ONLY」で何を排除しようとしたのかは具体的ではないが、「JAPANESE」を「WHITE」に置き換えて考えてみれば、人種差別そのものの、或いは人種差別を助長する表現であることがよく分かる。▼背景に、差別問題に対する鈍感さがある。「在特会」によるヘイトスピーチが話題になり、社会的糾弾を受けているが、部落差別解放運動がやや低迷気味な昨今でもあるためか、批判の声はいま一つ力が足りない。▼又、背景に「右傾化」が取り沙汰される社会的風潮があるのかも知れない。どちらも《美しいサッカー》の成立を妨げる要素で、受容出来ない。（順）

## 〈試合経過（60分）vs埼玉栄中〉

開成は、予選リーグと同様に前線からプレスを掛けボールを奪いに行くが、さすがに埼玉一位の埼玉栄はサポートの動き出しが速くボールを上手く繋いでサイド攻撃を図る。開成がワントップ気味で両サイドが引き気味になっているのを狙い、両SBがタッチライン際に開いてボールを受け開成のディフェンスを揺さぶる。前半10分、埼玉栄は左サイドを突破、ゴールライン際からマイナス気味に折り返すとゴール正面からのダイレクトシュートが決まり0…1。さらに前半20分、埼玉栄はまたしても左サイドから崩しバイタルエリアでフリーとなったMFが見事なミドルシュートを決めて0…2。開成はボールキープが出来ずゲームを組み立てられない。前半28分、埼玉栄は今度は右サイドから攻め込みセンタリングを押し込む。前半は埼玉栄の攻撃に圧倒され0…3で終了。

後半開始から開成は得点を狙って攻勢を仕掛けた。前半1分、左サイドに流れたCFに上手くスルーパスが通りグラウンダーのシュートがGKの脇を抜けて1…3、いい時間帯で反撃の1点が入った。その後も、開成は前半と打って変わってボールをキ

プし攻め立て、前半5分、正面30mのFKがバーを直撃するなど惜しい場面を作るが2点目が奪えない。埼玉栄も後半の開成のプレッシャーにも慣れ落ち着きを取り戻す。残り10分、開成は3バックにして攻撃を厚くしたが、得点を奪うことは出来ず1…

3で敗北、残念ながらベスト4進出はならなかった。



## ＜中学チーム、この1年の戦績＞

- ・東京都中学校春季サッカー大会第5支部予選3グループ（6校：2013.4～5）準決勝敗退（0：1足立第四中）
- ・東京都中学校サッカー選手権大会都大会（48校：2013.7）三位決定戦敗退（1：2慶應義塾中）
- ・東京都私立中学サッカー大会（74校：2013.8）準決勝敗退（0：4駿台学園中）
- ・東京都中学校サッカー秋季大会（新人戦）第5支部予選（32校：2013.9～10）一回戦敗退（0：1江北中）
- ・第5回首都圏私立中学チャンピオンズカップ（16校：2013.12～2014.1）準々決勝敗退（1：3埼玉栄中）

## ＜高校チーム、この1年の戦績＞

- ・高校総合体育大会東京都支部予選・東支部Gブロック（7校：2013.4～5）ブロックトーナメント決勝敗退（0：1都立東）
- ・全国高等学校サッカー選手権大会地区予選1地区2ブロック（11校：2013.8）二回戦敗退（1：1からPK負け4：5都立葛飾総合）
- ・新人選手権大会地区予選1地区（32校：2013.11～12）二回戦敗退（0：2かえつ有明）
- ・リーバーサイドユースリーグ（2013.4～12）－東京都第1地区のU-18のリーグ  
KAISEI A：1部リーグ（12チーム）5位、KAISEI B：2部リーグAグループ（11チーム）11位、KAISEI C：2部リーグBグループ（10チーム）10位

## ☆観戦記②高校

### 新人戦地区予選は2回戦で

### 強豪かえつ有明に善戦も敗退！

高校チームは、新人戦地区予選（第1地区：江戸川区・江東区・葛飾区・墨田区・荒川区の32校のトーナメント、決勝に進出した2校が東京都予選－B組432に出場）において、一回戦（11～17）で都立第三商業を2…0で破り、二回戦（11～24）で強豪・かえつ有明と対戦、気持ちのこもったディフェンスで善戦したが0…2で敗退した。（東京都予選には第1地区からかえつ有明と都立葛飾野、シードされた修徳が出場）。

以下はH22卒池田君の渾身のレポートです。

## 〈試合経過（70分）vsかえつ有明〉

かえつ有明との二回戦は薄暗い中キックオフ。開成はひととき気合いの入った円陣でこの試合にかける意気込みが伝わってくる。立ち上がりはかえつがボールをキープ。ボールを左右に大きく動かすが、開成は全員が集中して球際へプレスをかけ、攻

め手をつくらせない。その後もかえつがボールを回し中央突破を図るが、ことごとく開成が縦パスをカットしチャンスをつくくられない。緊迫した展開が続く両チームともシュートらしいシュートを打たずに前半が終了。

後半も開成は自陣で守りを固める。コナーキックからのこぼれ球をゴール前でシュートを打たれるがこれは左に外れる。徐々にかえつがチャンスをつくる中、後半8分、ゴール前でフリーキックを得る。これが壁を越えて直接決まり先制点される。10分、開成は7番を経由してのカウンターのチャンス。オーバーラップした2番から右サイドにボールがあたり、センタリングからゴール前で9番がシュート。しかしシュートはゴール上に外れる。開成は攻勢に出つつも粘り強く守り続ける。18分、それまで何度も相手のチャンスを防いでいたサイドバックの2番が二枚目のイエローカードをもらい退場。20分、かえつは左サイドから長いパスを受けたフォワードがディフェンスに寄せられながらもシュートを決め追加点を上げる。開成は前がかりにプレスをかけ、人数が少ないながらも再三チャンスをつくる。30分、フリーキックか

らのこぼれ球をセンターバックがロングシュートするもわずかにゴールを外れる。かえつもカウンターで何度か決定機をつくるが、開成はゴールキーパーのファインセーブで追加点は許さない。

気持ちを前面に出したプレーで最後まで互角に粘るもついに試合終了。終始熱のこもった素晴らしい試合を見たが惜しくも二回戦敗退となった。







## OB 会ゴルフコンペのご案内

- ◇日時： 2014年10月2日(木) 8時20分現地集合
- ◇場所： 千葉カントリークラブ 川間コース
- ◇開始： 東スタート9時03分
- ◇参加者： 5組予定
- ◇参加費： 2万円
- ◆申込み： fujisakidt@msn.com



## 2014 年 OB 親睦学年対抗フットサル大会

開成学園サッカー部 OB 会では今年も OB 間の親睦を図るために「OB 親睦学年対抗フットサル大会」を開催いたします。

同期のメンバーなどに積極的に声をかけていただき奮ってご参加ください。もちろん個人での参加も大歓迎です。30 歳以上 OB や 40 歳以上 OB も体力に合わせて怪我に気を付けながら楽しいフットサルをやっています。

- 日時：2014 年 6 月 7 日(土) 12 時 30 分クラブハウス集合！
- 概要：13：00～16：00 でフットサルコート(人工芝)を 3 面使用  
若手 OB(30 歳未満)は「学年対抗ガチンコフットサル(1 チーム 5 名)」  
30 歳以上 OB & 40 歳以上 OB は「それなりフットサル」
- 場所：ジョモニスタ南与野(南与野駅徒歩 5 分)  
〒338-0832 埼玉県さいたま市 桜区西堀 9-17-4 TEL 048-859-6701  
<http://www.jomonista.com/myono/>
- 懇親会：日本海庄や南与野店(南与野駅すぐ) 17 時から  
埼玉県さいたま市中央区鈴谷 2-748-1 ウェストビル 1F TEL 048-859-9696  
[http://search.daisy.co.jp/shop.php?shop\\_cd=3367](http://search.daisy.co.jp/shop.php?shop_cd=3367)
- 申込：各年代、または前後の年代でチーム(5 名以上で 1 チーム)を結成して、中村(naosan@fgb2.jp)に参加希望メール(ゲームに○名、懇親会に×名)を送付してください。  
個人参加の場合も人数把握のため参加希望メールを送付してください。



## ☆観戦記③OB

### 東京カップ(天皇杯の東京都予選) 一回戦でPK負け！

OB チームは今年も天皇杯の東京都予選でもある東京都社会人サッカーチャンピオンシップ(東京カップ)に参加。1～19(日)の一回戦で板橋区代表の FC POST と対戦したが、1：1(0：1、1：0)からの PK 戦(2：3)で敗退した。↓東京カップの過去の戦績、2010 年：二回戦負け、2011 年：二回戦 PK 負け、2012 年：一回戦 PK 負け、2013 年：三回戦負け、

※以下の戦評は、東京都の社会人サッカーの情報を集めて紹介するサイトである Tokyo Football のものです。



### 〈試合経過(70分) vs FC POST〉

板橋区代表の FC POST と荒川区代表の開成 OB 蹴友会が対戦。序盤からボールポゼッションで上回るのは POST だが、開成 OB もキーマンの MF 中太や草川にボールが渡ると単発ながらも好機を創出。そんな中、先制点を挙げたのは POST。15 分に FW 山本のドリブル突破で CK を獲得すると、ファーサイドで MF 鈴木が頭で押し込み先制。その後も POST がグラウンド全体を使ったワイドな攻撃でゲームを優位に進めるが、追加点を奪えぬまま後半に突入。すると後半は流れが一変し開成 OB が主導権を掌握。全体の運動量も上げて開始からゴールに迫り、7 分には中太がゴールネットを揺らす。惜しくもオフサイドの判定。しかし、この勢いを見事に継続して圧倒的に攻め立てると、28 分に MF 宮本がミドルシュートを決めてつ



### ＜OB チーム、この 1 年の戦績＞

- ・2012 年度荒川区サッカー選手権(17 チーム：2013.3～5)  
優勝(決勝は 1：1 から PK 勝ち 5：3) - 4 回目で初優勝
- ・2013 年度東京都社会人リーグ 4 部 5 ブロック(10 チーム：2013.4～12)  
6 勝 1 敗 2 分で 2 位(3 部へ昇格出来ず - 4 部で 3 期連続の 2 位)
- ・2013 年度荒川区社会人リーグ一部(8 チーム：2013.5～)  
1 勝 5 敗で最下位(2014.3 現在) - 2012 年度は 8 戦全勝で優勝
- ・2013 年荒川区区民大会(18 チーム：2013.9～11)  
準々決勝敗退(0：2)
- ・2014 年度東京カップ(2014.1～)  
二回戦敗退(1：1 から PK 負け 2：3)

いに同点。勝負は 1 - 1 の同点のまま PK 戦へと突入。最後は GK 助川の好セーブが光った POST が 3 - 2 で勝利し、二回戦進出を果たした。



# 連載 私の青春とサッカー

榮 隆男（昭和33年卒）



あった。

二〇二〇年東京オリンピックを迎えて  
「東京オリンピック」何と懐かしくも胸躍る言葉であろうか。五十年前のこのオリンピックこそは、私の青春の夢であり、また青春のターニングポイントであったのだ。

開成中学二年で体操競技を始めた時も、中学三年で陸上競技に転じた時も、夢はオリンピックであった。そして、高校二年から大学二年まで熱中したサッカーの目標もまた、オリンピック出場にあった。私は、新しいスポーツに取り組むとすぐに、その競技のトップレベルに注視し、トッププレイヤーに憧れ、そうなりたいと願うのが常であった。そして、どの競技の夢の頂にもオリンピックがあった。

## 国家的大事業としてのオリンピック

一九六四年（昭和三十九年）、十月十日に開催された東京オリンピックは、国を挙げてとり組まれた歴史的プロジェクトで

試運転段階で二五六Kmの驚異的な世界最高速度に達していた東海道新幹線が、開会式を九日後にひかえた十月一日、東京、大阪間に開通したのである。東京・大阪間は初め四時間、翌月からは三時間一〇分

結ばれ世界を驚かせた。また、二年前から一部開通していた首都高速道路が、八月には羽田とオリンピック会場間が、そして、同十月一日に全面開通しているのである。すべてはオリンピックありきの国家事業であったが、それを支えたのが、一九六〇年代にはじまった高度経済成長であった。年成長率一〇%を超える未曾有の経済成長は、再び日本を世界の表舞台へと押し上げていった。その大きな契機となったのがオリンピックであった。

明治開国以来、欧米に追いつき追い越すことをモットーに発展し続けた日本と日本人が、太平洋戦争の敗戦により打ちのめされて一九年、日本が再び世界に飛躍する

サッカー競技を観る機会を持ったことも大きかった。準々決勝で日本はチェコスロバキアに〇対四で敗れたが、参加一六チーム中八位にまで上がったことも大きな関心事となっていた。

決勝は、ハンガリーが二対一でチェコスロバキアを下し、マジック・マジヤールの面目を新たにした。

こうして生まれたサッカー人気を背景に東京オリンピックの翌年、一九六五年、日本蹴球協会は日本サッカーリーグを立ち上げた。マイナースポーツであったサッカーは世間の耳目を集め、青少年層にサッカー人気が一気に高まっていた。これが第一次サッカーブームであった。

東京オリンピックが戦後の日本サッカーの後押しをしてくれたのはまぎれない事実である。（次号に続く）

《榮隆男氏のプロフィール》

開成高校卒業後早稲田大学に進む。

早稲田大学で蹴球部在籍。

一九六〇年よりフットサルにかかわり現在に至る。

一九八〇年よりフットサル連盟理事長。

一九九一～二〇〇四年まで日本サッカー協会

特任理事（フットサル委員長）。

日本のフットサル発展の中心的役割を果たす。

二〇〇六年、同連盟退任。

現在、北区サッカー協会副会長、十条フットボールクラブ代表。

女子美術大学名誉教授（哲学、倫理学）

保護司歴一五年。北区小・中学校、学校評議員。

二〇〇七年六月～八月、マニマニ国フットサル代表チーム監督。

きっかけとなり、日本人が国際社会の中で自信をとり戻すターニングポイントとなったのが東京オリンピックだったのである。その意味でも、東京オリンピックは単なるスポーツの祭典にとどまることのない、まさに日本現代史の分岐点となった一大事業であったのである。日本で、そしてアジアではじめてのオリンピックへの関心はいやが上にも高まっていた。

## 第一次サッカーブーム

若い後輩諸君は、この言葉を耳にしたことがあるのだろうか。

オリンピックのメイン会場は、国立霞ヶ丘競技場であった。ここは、あの雨の学徒出陣の壮行会があった明治神宮外苑競技場、即ち神宮競技場であった。その神宮競技場が一九五八年（昭和三十三年）、第三回アジア競技大会に際して、日本を代表する国際的競技施設として生まれ変わっていた。これを更に増改築して「第十八回オリンピック競技大会・東京大会」に臨んだのである。東京都体育館、駒沢競技場、同屋内、室内競技場、そして、丹下健三氏設計の名建築で知られる代々木競技場第一、第二体育館が建造されたのもこの時であった。

## facebookに開成サッカー部OB会のページができました。

登録して閲覧、書き込みよろしくお願ひします。（※管理人：新井順平）  
また、開成サッカー部OB会のホームページの作り直しもすすめています。



<https://www.facebook.com/groups/289939677827709/>



## 伝統を引き継いで

### いよいよ中村利尚新会長

昨年11月23日に母校食堂にてOB会総会が開かれ、藤崎真人前会長に代わって中村利尚氏（S47卒）を新会長、俵新氏（S43卒）と山田壽一氏（S55卒）を新副会長として、新しい体制が始まりました。



挨拶する中村新会長（右）と俵新副会長（左）



現在の顧問の池谷先生（右端）とその隣が先々代顧問の松本順昭氏（S29卒）。松本順昭氏は『蹴友』の名コラムニスト、今回のコラムと併せて前回のコラムを再掲しておくところ。

中村新会長は、これまでもOB会に尽力されてきたところ、新たに東大サッカー部時代には得点王、東大卒業後も東大サッカー部OB会とそのクラブチームで都のシニアリーグで現役をつづける俵氏が副会長になって、開成のOB会チームに力添えをするといった新体制。大勢のOBによって育まれた開成サッカー部のよりよき伝統を引き継いでいくことが期待されます。



▼「欧州サッカー／根深い差別」、朝日新聞三月二十一日の2面のトップの記事だが、イタリア、

ポスト・アルシツィオの町の話。土地のチームのサポーターが、練習試合の相手のACミランのアフリカ系4選手に対し、試合開始直後からサルの鳴き声をまねたヤジを浴びせ、憤慨したACミランの選手が退場したという話。▼併せて、昨年スロバキアでプレーした日本人選手がサポーターや同僚から差別を受け、退団を余儀なくされた話も。サッカーの世界で、欧州諸国でのアジア、アフリカ系選手への差別事例は、少なくないとか。▼失業率の悪化や増大する移民への不満等が背景にあるというが、許せない事だ。世界を語るのに兎角欧米中心に成りがちなのは、我が国内にも存在する悪弊だが、特に欧州諸国では隠然たる広がりがあるように思われる。真っ先にスポーツ界から差別問題を解消して行きたい。（順）